

北海道臨床細胞学会会報投稿規定

1. 資格：特別講演などの依頼原稿を除き，原則として投稿者は共著者もふくめ北海道臨床細胞学会の会員に限る。
2. 掲載論文：本会報に投稿される論文は特別講演などの依頼原稿，特集，総説，図説，一般原著（総会発表以外の学術論文），総会原著（総会発表内容の学術論文），短報などである。投稿論文は臨床細胞学の進歩に寄与しうるもので，他誌に発表されていないものに限る。なお，掲載論文の著作権は北海道臨床細胞学会が有する。
3. 執筆要項
用語：和文または英文とする。
 - (1) 原稿の書き方
 - a) 原稿はワープロ（Wordなど）を用い，文字の大きさや字数・行数に制限を設けないがA4縦長，横書きし，左揃えとする。平かな，常用漢字，現代かなづかいを用いる。ただし，固有名詞や一般に用いられている学術用語はその限りではない。
 - b) 度量衡単位はcm, mm, μm , cm^2 , ml, l, g, mgなどSI単位を用いる。
 - c) 外国人名，適当な和名のない薬品名，器具および機械名，または疾患名，学術的表現，科学用語については原語を用いる。大文字は固有名詞およびドイツ語の名詞の頭文字に限る。
 - d) 医学用語は略語を用いても良いが，はじめに完全な用語を書き，以下に略語を用いることを明らかにする。
 - (2) 原稿の様式
 - a) 原稿の構成は和文の題名，著者名，所属，要旨（英文ないし和文），索引用語（key words），本文（緒言，研究方法，成績，考察，結語），文献，図，表，写真の順とする。原稿には通し頁番号をふる。1枚目には和文の題名，所属，著者名のほかに，論文の種別（原著，症例報告，短報など）を明記する。2枚目（ないし3枚目）には英文ないし和文の要旨，索引用語を記載する。本文は要旨とは別に始める。
 - b) 要旨：英文は200語以内（ただし題名，著者名，所属名はのぞく）。和文は500文字以内にまとめる。総説と特集では，論文の内容に応じて適宜設定する。短報では100語以内にまとめる。
 - c) 索引用語：論文の内容を暗示する英語の単語（Key words）を5語以内で表示する。原則として，第1語は対象，第2語は方法，第3語以下は内容を暗示する単語とする。
 - d) 文献：主要のものに限る。依頼原稿，総説は30編以内，原著，症例報告は15編以内とし，次の形式をまもる。著者名のABCの順に並べ国内文献のあとに外国文献を記載，文献は引用文献の著者氏名が4名以上の場合は最初の3名を書き，他は・他，またはet al.とする。誌名略記は日本医学図書館協会編，日本医学雑誌略名表およびIndex Medicusに準ずる。
(雑誌の場合)著者名：表題，雑誌名，巻：頁，発行年（西暦）。
(単行本の場合)著者名：表題，頁，発行所，発行地，発行年（西暦）。なお，引用が単行本の一部である場合には標題の次に編者名，単行本の標題を記し，発行年の後に：頁～頁，を記載する。
(電子文献の場合)著者名，書名，入手先URL，閲覧日。
(例) a) 厚生労働省：平成17年患者調査報告（傷病分類編）
<http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/kanja/05syoubu/suihyo.html>（閲覧日2008年12月9日）。
 - b) AMERICAN SOCIETY OF CYTOPATHOLOGY:
NCI Bethesda System
<http://nih.techriver.net/index.php>（閲覧日2008年12月8日）。
 - (3) 論文の長さ
 - a) 印刷刷り上がりで依頼原稿，総説は本

文、文献を含め10頁程度、図説は4頁、一般原著（総会発表以外の学術論文）は8頁以内、総会原著（総会発表内容の学術論文）4頁程度とする。

- b) 印刷刷り上がりは800文字が刷り上り約1頁に相当する。写真は原則白黒とし、1枚で200文字程度に計算する。カラーでの掲載を希望する場合は「カラー掲載希望」と明記する。
図・表（写真を含まず）は1枚で400文字分として算出する。
- c) 写真の枚数に制限はないが、必要最少限の枚数とする。
電子媒体での光顕写真ないし電顕写真の解像度は640×480（VGA）以上が望ましい。保存ファイル形式とファイル名を付ける。なお、査読用の補助としての添付写真はキャビネ判以上の大きさとし、A4判の台紙もしくは厚紙に両面テープもしくは写真用コーナーで貼付ける。
- d) 写真、図、表は写真1またはPhoto.1、図1またはFig.1、表1またはTable1などのようにそれぞれの番号をつけ、簡単なタイトルと説明を付記する。顕微鏡写真には倍率を付する。光顕写真（細胞像、組織像）の倍率は撮影時の対物レンズ倍率を用いる。電顕写真については撮影時の倍率を表示するか、または写真にスケールを入れる。
- e) 短報：出来上がり2頁以内とする。写真は2枚以内（組み合わせは各々2枚以内）、図表は計1枚までとする。写真2枚と図表1枚が入った場合の本文（I.はじめに～）と文献はA4用紙で2枚を目安とする。
- f) 投稿原稿は、FDないしCD-ROMなどの電子媒体で送付すること。なお、査読用として、同一内容の原稿を一部添付する。
- FDないしCD-ROMのラベルに必ず「著者名、使用機種、ソフト名、保存文書名」を記入する。
 - 本文と写真、図、表などはそれぞれ別のファイルにし、分かりやすいファイル名をつける。
 - 図表・写真ファイルのファイル形式は、

PDF, DOC, XLS, PPT, JPGでファイル数は、10個まで（1ファイルあたり10MB以下）であること。

- 使用ソフトはWindows, Macintoshなどでの投稿は可能だが、最新のOSを使用の場合は事前に事務局に問い合わせること。
4. 掲載料：当面の間は無料とするが別刷を希望するときは、校正時に部数を明記して申し込む。カラー掲載および別刷り代は著者負担とする。
 5. 論文の審査：投稿論文は編集委員会での審査を経たうえで、採否を決定する。審査にあたっては査読制を行い、一部加筆修正することがある。原稿の組体裁、割付は編集委員に一任する。
 6. 校正：著者校正は原則として初校において行う。送付された校正は、必ず3日以内に返送する。
 7. 校正担当者が筆頭著者以外の時は、校正の責任者と送り先を投稿時に明記する。校正では間違いを訂正する程度とし、原稿にない加筆や訂正は行なわない。
 8. 原稿の返却：初校時に校正原稿と共に採用原稿は返却する。
 9. 規定の改正：投稿規定は改正することがある。

付1)別冊料：当分の間は著者負担とする。

付2)編集委員長：当分の間は例会長が兼任する。

※原稿の送付：投稿論文は本原稿を編集委員長（会報発行事務局）もしくは下記宛てに送付すること。

※E-mailでの送付は事前に事務局と打ち合わせる

〒065-0026 札幌市東区北26条東14丁目15
北海道対がん協会細胞診センター内
北海道臨床細胞学会事務局

- 1) 本投稿規定は平成4年3月より実施する
- 2) 本投稿規定は平成7年3月より一部加筆（付1.2）実施する
- 3) 本投稿規定は平成21年10月より改正実施する
本投稿規定は平成24年11月18日より一部加筆実施する（2. 掲載論文）。